



かおり通信

学校教育目標……『自分らしさを大切にし、互いに認め合える子どもの育成』 「自律」と「共生」

めざす子ども像…『共に考える子・互いに思いやる子・みんなでチャレンジする子・最後まで諦めない子』

学校経営目標……『“共にくらす、共に学ぶ、共に育つ” 喜びのあふれる学校をみんなでつくりましょう』

～6年間で育てる 学校全体で育てる～

めざす学校像……『子どもたちから笑顔が絶えない学校・気持ちのいい挨拶、きれいな学校・教職員同士が
専門家として成長できる学校・保護者の期待に応える学校・地域と学校が支え合う学校』

茅ヶ崎市立香川小学校 2022年度 11月号

2022年10月31日発行

後期始業

10月13日(木)から後期が始まっています。残りの半年間子どもたちは、2022年度をどのように過ごすのでしょうか。コロナ禍ではありますが、子どもたちの成長は止まりません。学年末に向けて、様々な新たなことを経験して行くことでしょうか。22日(土)には、運動会がありました。1年生から6年生まで、自分たちの演技の発表はもちろんのことですが、他学年の演技を見ることも新たな経験として受け止め、成長へと結びついていることを感じました。

後期も日常の学習を大切にしながら、様々な行事を通して、子どもたちのがんばりと笑顔を見守り続けたいと思います。

あこがれいっぱいの運動会

子どもたちの成長に大切なこととして、喜びや感動など心を揺さぶる出来事や出会いがあります。私たち大人も何かに出会い『すごいな』とか『かっこいいな』とか『あんなことしてみたい』などあこがれを抱き、自分をそれに近づけようとするのが、生きる力となっていることがあります。子どもにとっても、あこがれを抱くことが大きな意味を持つのだと思います。あこがれを抱くということは、相手を認め受け入れるということです。子どもたちに人や事、物に多くのあこがれを抱いてほしいと思っています。学校が子どもにとってそういう場所となっているか。私は、あこがれのいっぱいある学校にしたいと思っています。

22日に実施した運動会が、子どもたちにとって、あこがれを抱く一つの場面となったことを願っています。6年生のソーラン節を見て、5年生のフラッグ演技を見て、他にもあこがれを抱く場面がたくさんあった運動会だと思います。今年度の運動会も紅白対抗をやめ、各学年が工夫をして、演技と競技に取り組みました。また、紅白の応援団ではなく、応援隊として全体を応援したり、開閉会式に劇に取り組みんだり、VS先生とのリレーがあつたり、新しい試みにチャレンジしました。みんなが笑顔になることができる運動会を目指して！

閉会式の6年生児童代表の言葉に、ずっとあこがれていたソーラン節を踊れたことの喜びと自分たちが昨年披露したフラッグの演技を今年も5年生が取り組んだことの喜び、1年生から4年生が一生懸命取り組んでいる姿への称賛がありました。6年生として、運動会に真剣に向き合って発せられた言葉だと思います。